



連携事例 38

R7.3

茂原七タまつり 70th ゴミ減プロジェクト

with ペットボトルキャップリサイクルで“未来を変えるCapoon!!”企画・製造・販売

～住み続けられる街づくりとサーキュラーエコノミーの実現を目指して～

ちば
コラボ大賞
受賞事例



七タまつりでの“未来を変える Capoon!!”販売とゴミの分別回収

協働パートナーの種別



事業運営団体

千葉県立茂原高等学校 Team 茂高街塾

協働パートナー

- ・昌和プラスチック工業株式会社
- ・茂原商工会議所 ・旭紙業株式会社
- ・茂原市経済環境部環境保全課
- ・房総サーキュラーエコノミー推進協議会 計5団体

事業費

総支出 337,020 円 総収入 517,531 円(R6.8月末)

資金調達手段

協賛金(茂原商工会議所)・販売収益

事業概要

1. ペットボトルキャップをリサイクルして製造するリユース食器づくりとその販売
“未来を変える Capoon(キャップーン)!!” 企画製造
2. 七タまつりにおける分別ゴミ箱の制作と設置, ゴミの分別・回収
3. 七タまつりにおけるリユース食器の利用促進

協働までの経緯

令和6年2/26(月), サークュラーエコノミーに係るオープンな勉強会(茂原商工会議所工業部会主催)にて, 七タまつりのゴミ問題とその解決策を提案する動画(下記QR参照)を, 生徒らが発表。4/28(日)に, 茂原銘産品お披露目イベントにボランティア参加したところ, 同勉強会の主催者である茂原商工会議所工業部会所属の昌和プラスチック工業(株)がアクリル板を再生利用した製品を開発・販売しているのを知り, 同社と協働すれば, ペットボトルキャップをリサイクルしてのお祭り時にも使えてリユースができるような製品の企画開発ができるはずと考えた。また, 七タまつりのゴミ問題の解決に向けた動きをするため, 同まつりの主催者側である茂原商工会議所と協働して, 上記1~3の事業を実践した。



主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①令和6年5/10(金)動画を制作した生徒および教員で, 昌和プラスチック工業(株)を訪問し, 製品製造を見学。同社および房総サーキュラーエコノミー推進協議会と協議し, 先割れ小型スプーンの企画・製造の決定。
- ②翌週より, 七タまつりゴミ減プロジェクトの立ち上げと同企画への校内での協力依頼を行い, この事業を校内のTeam 茂高街塾を運営主体として行うこととし, 茂原商工会議所にも協力を依頼。本事業の運営主体となるTeam 茂高街塾への協力を申し出てくれた生徒らを中心に, 全校生徒, および, 保護者へのペットボトルキャップのリサイクルの依頼をし, ペットボトルキャップの色別回収と洗浄作業を開始。
- ③先割れ小型スプーンのデザインを2学年生徒に対して広く募集し, 同年5/17(金)には, 応募図案の中から実現可能なデザインを昌和プラスチック工業(株)に送付し, 図面化。図面データをもとに, 本校ALTの協力により,

3D プリンターで3案の試作品をつくり、実物同様のものをもとに使いやすさなどを検討し、同年5/24(金)には最終的なデザインを決定、昌和プラスチック工業(株)に金型作成を依頼。

④同年6/6(木)、七夕まつりゴミ減プロジェクトの全体への協力を、茂原市経済環境部に打診。本取組について、市庁舎内でのペットボトルキャップの回収や当日のゴミの分別の面で協力を快諾いただいた。

⑤同年6/26(水)、昌和プラスチック工業(株)にて、完成した金型を利用した試作。粉碎したペットボトルキャップからどのような色見の製品ができるか、また、商品の使い勝手はどうかなどを試し、実現可能な改善点や実際に製造する製品の色見について検討し決定。

⑥同年7/9(火)、旭紙業(株)より、七夕まつり時に設置するゴミ箱の基礎となる段ボール箱28個を受領。同日より、生徒らが分別用ゴミ箱の製造を開始。7/25(木)にはコーティングを含めすべて完成。

⑦同年7/10(水)には、茂原商工会議所、昌和プラスチック工業(株)、房総サーキュラーエコノミー推進協議会をオンラインで交え、先割れスプーンを1組300円で売ること決定。

⑧同年7/11(木)、12(金)、試作時に決定した魅力的な色見の製品を中心に、デザインや企画にかかわった生徒累計10名が立ち合い、七夕まつりで販売する製品の製造。製品の梱包や同封ラベル内容の検討。製造した製品を、7/22(月)までに説明書きと共に梱包し、販売時の看板・ディスプレイも制作。

⑨同年7/12日(金)から16日(火)にかけて、2学年生徒に対して、製品名の考案を依頼し、“未来を変える Capoon(キャプーン)!!”という製品名が決定。

⑩同年7/27(土)、28(日)茂原七夕まつり当日、Team 茂高街塾の2学年生徒延べ63名、教員延べ18名が、同プロジェクトを遂行。“未来を変える Capoon(キャプーン)!!” 売上、当日845本、予約販売350本。

主な協働パートナーとの役割分担

【企業】昌和プラスチック工業(株)：製品共同開発
旭紙工業(株)：資材提供

【地縁組織】茂原商工会議所：協働企画・運営

(一・社)房総サーキュラーエコノミー推進委員会：助言

【行政】茂原市経済環境部環境保全課：廃棄物回収

協働事業によって生まれた成果

- ・各団体で活動の目的を共有しながら事業を実践
- ・社会教育と環境教育の並行的な実現・意識の変容

今後力を入れていきたいこと

○本事業を次年度以降も、無理なく、持続可能な形で実践を続けられるよう、今年の経験を踏まえて注力。



★コツ1 企画の構想段階から情報共有。

進行しながらも、随時、情報共有。

★コツ2 何事も、相談しながら進める。

新しいことに取り組むには勇気がいりますが、協働パートナーと相談しながら進められる安心感から、抵抗なく、第一歩を踏み出せたように思います。



協働事例プロフィール

【活動開始】令和6年5月 【PR手法】<https://cms2.chiba-c.ed.jp/mobara-h/>

【マスコミ掲載歴等】千葉日報 R6. 7/18(木)・7/28(日)、毎日新聞 R6. 7/19(金)・7/28(日)、朝日新聞 R6. 7/23(火)

【問い合わせ先】担当者：千葉県立茂原高等学校 太田代 里子 電話番号：0475-38-7034